



山都町長
甲斐利幸

各地域それぞれの思い出をいっぱい詰め込んできた小学校の閉校式が無事に行われました。これまで、子どもたちのことを考えながら、地域の皆さんとともに、納得できる統合を目指してきました。今回の統合については、地域の皆さんや教職員の方々に心から感謝申し上げます。今後は、新しく開校する蘇陽南小学校で、子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるよう尽力してまいります。町民の皆さまのますますのご支援とご理解をお願い申し上げます。



山都町教育委員長
鈴木幸生

3つの小学校が136年の歴史に幕を下ろします。この間、学校は地域に根ざしながら、地域の拠り所、文化の拠点としての機能を果たしてきました。このたび、保護者や卒業生、地域の方々に、次世代を担う子どもたちの教育のことを考え、統合についての苦渋の選択をしていただいたことに心より感謝申し上げます。4月から新しく蘇陽南小学校がスタートします。子どもたちが夢と希望をもって新しい蘇陽南小学校で、多くの友だちと楽しい学校生活を送られることを期待します。

馬見原小学校



河田知治さん
校長

136年間この地域に根ざし、地域の皆さまに支えていただいた馬見原小学校。これまでに多くの卒業生を社会へ送り出してきました。その伝統は有形無形にかかわらず受け継がれてきました。老人クラブとの交流を通じて得た、ふるさとを大事に思う気持ちは、これからも必ず児童の心に残るはずです。

馬見原小学校はその歴史に幕を下ろしますが、子どもたちが地域の宝であることは変わりません。これからもやさしく見守っていただきたいと思います。プラタナスとともに新たな伝統を築いてほしい。



片倉楓さん
児童代表

版画や運動会など今年一年を振り返ってもいろいろなことがありました。在校生以上に、一言では語れぬ熱い思いを持っている人も多いと思います。多くの先輩が残してくれた足跡、伝統、多くの方が大事に思い、守ってくれたからこそ、素晴らしい今があるのだと思います。地域の方々や老人クラブの皆さんには、農作業の貴重な体験と共に、たくさんのことを教えてもらいました。私たちは、馬見原小学校の思い出とともに、強いきずなで繋がっています。馬見原小学校、136年間ありがとうございました。



古川俊次さん
馬見原東部
老人クラブ

馬見原小学校には、長崎・馬見原・馬見原東部・滝上の老人クラブと農作業を通じた交流をしてもらいました。その馬見原小の名がなくなるのはやはりさみしい。地域農業の文化を子どもたちに伝え、ふるさとを大事にする心を持ってもらおうと続けてきました。成長した彼らから声をかけられるのは、この上なくうれしいことです。新しい学校でも、できるかぎり子どもたちとの交流を持ちたいと考えています。蘇陽南小学校には、今まで以上に、地域と共にある学校になってほしいです。

菅尾小学校



岩下勇治さん
校長

菅尾小学校は素晴らしい環境の中、明治8年以来136年の歴史を刻んできました。幾多の笑いと涙、感動のドラマがここで繰り広げられ、地域に愛され支えられながら、思い出という足跡を残してきました。しかし、その歩みも最後となります。児童のみなさんには、これまでお世話になった地域のみなさんのために、夢をめざし、精一杯輝く姿を見せて、蘇陽南小学校でもしっかりがんばっていきましょう。菅尾小の閉校に校長として携わることができたことを誇りに思います。



上野涼香さん
児童代表

平成24年3月、菅尾小学校の名前はなくなります。私たち27人が最後の在校生となりました。嬉しかったこと、楽しかったこと、手を取り合い喜び合ったこと、時には悔し涙を流したこともありました。でも、菅尾小学校があったから、この校風を作ってきた先輩、地域の方々、大好きな友だちがいたからそんな経験ができたと思います。136年間、毎日の学校生活を温かく見守ってくれました。そんな菅尾小が大好きです。ありがとう菅尾小学校。



菅尾レンジャー
地域代表

イガクリ戦隊菅尾レンジャーリーダーのレッドです。私たちの菅尾小学校が136年の歴史に幕を閉じると聞いて非常に残念で、菅尾の子どもたちと触れ合う機会がなくなるのかと思うと寂しく感じています。しかし、この菅尾の地で育った子どもたちならば、新しい蘇陽南小学校でもたくさんの友達を作って、仲良く楽しく元気に頑張ってくれることなのでしょう。その輝かしい子どもたちの姿を思い描き、これからも応援していきたいと思います。それではまた、どこかで会いましょう！頑張れ菅尾の子どもたち！

大野小学校



野尻絹子さん
校長

この一年は、常に「大野小学校最後の」という言葉がつく特別な1年になりました。大野小学校のよさは、お互いのことをよく理解し合い、思いやりの心を感じる温かい雰囲気が常にあったことです。みんなで見守り、みんなで育んでいく、大野小校区にはそんな地域の姿がありました。伝統ある大野小学校の閉校はとても寂しいものです。児童のみなさんには大野小で学んだという誇りを持ち、大野小の良さを、菅尾・馬見原小の良さ合わせて蘇陽南小に引き継いでください。



久枝りんかさん
児童代表

(校旗返納時のあいさつ)
大野小学校の校旗のもと、私たちは勉強や運動にがんばり、友だちと将来の夢について語り合ってきました。この校旗には、大野小学校を巣立っていかれた1,552人の先輩方の思い出と、在校生16人の「夢」がこもっています。大野小学校の児童であったことの誇りを胸に、新しい蘇陽南小学校でも、志を持って、一生懸命がんばります。



佐藤孝義さん
元PTA会長

私は、終戦間もない昭和24年に入学しました、当時は15名のクラスメイトで、今の在校生と同じくらいです。4年生のとき、厳しい先生によく怒られていたのを覚えています。当時、教室の壁を取り払い、地域の方々がたくさん集まって学芸会が開かれていたのを思い出します。学芸会ではお芝居などが披露されて一日中楽しみました。心のよりどころとなっていた大野小学校がなくなるのは残念ですが、次の世代に豊かなふるさとを残せるように、新しい大野をみんなで築いていけたらと考えています。